

キャラクター名
二条 東吾(にじょう とうご)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	キュマイラ			年齢		高校2年生
オプション	覚醒	素体	衝動	吸血	初期侵食率	33 %
出自	名家の生まれ		経験	喪失	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン		0	3	12		
インフィニティW 100%↑		0	3	13		
		0				
虎首斬り	白兵	5r+4		27		C+a コスト6 @8 IWで作成した武器限定

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1	-	-	

所持品	
コネ:噂好きの友人	
思い出の一品	
情報収集チーム	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人(ストレンジネイバー)	P	N		
祖父	P 尊敬	N 悔悟		
『虎討ち』	P 連帯感	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C<モルフェウス>	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
咎人の剣	3	4	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果: 攻撃+[Lv*5] 作成武器限定								
クリスタライズ	2	4	Xジャー	-	-	対決	100%	
効果: 攻撃+[Lv*3]装甲無視シナリオ3回								
インフィニティウェポン	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵武器作成								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動 離脱も行える シーンLv回								
オリジン:ミネラル	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン中、装甲値+[Lv*2]								
砂の加護	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の判定のダイス+[Lv+1] ラウンド1回								
獣の魂	2	5	オート	至近	自身	自動	100%	
効果: 【肉体】判定のダイス+5個 シーンLv回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

□□□時は廻り江戸の時代、見世物として運ばれてきた虎が妖に取り憑かれ、檻を食い破り逃げ出した。村を襲い多くの人々が喰われ、見兼ねた藩主とはある刀鍛冶に虎討ちの一振りを打たせた。妖虎は虎討ちの刃を首筋に受けると、身体中の血が全て吹き出し、干からびて倒れてしまう。そうして、妖に取り憑かれた虎は退治され、虎討ちの刃は斬った妖が甦らぬように刀身を溶かし、祈禱された桐箱に入れられ二度と日の当たるところに現れることはなかった。

『という、昔話があったわけだ。嘘か真か、証明するものは残っとらんがな』

鍛冶屋の孫。品行方正で情に熱い。昔は有名な家柄だったらしいが、祖父の代で鍛冶技術の継承は途絶えた。祖父が他界した後、遺品を整理していた際に桐箱に収められた奇妙な鉄塊を見つける。それを手に取った瞬間、彼の意識に知らない人格が宿った。後にレネゲイドビーイングと呼ばれることを知る、その存在によって、彼はオーヴァードとして覚醒したのであった。

数百年の時が経ち、虎討ちはレネゲイドビーイングと呼ばれる意思が芽生えた。トウゴの身体を奪い、新たに虎討ちの刃を拵え、甦った妖を斬るためだ。身を溶かされ、刀としての本命を全うすることができない身では力が足りず、身体を奪う事には失敗したが、トウゴの両親が妖に取り憑いた妖……ジャームと呼ばれるものに殺され、トウゴは戦うことを決意する。

『わしはもう刀にはなれぬ。だが、お主の力を借りればまた、剣(つるぎ)となろう』